

琉球大学学術リポジトリ

ハスエラタテジマウミウシの八重山諸島・外離島からの記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2018-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 成瀬, 貫, Naruse, Tohru メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38638



ハスエラタテジマウミウシの八重山諸島・外離島からの記録

成瀬 貫

〒907-1541 沖縄県八重山郡竹富町上原870 琉球大学熱帯生物圏研究センター西表研究施設
naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp

記録

西表島の北西沖に位置する外離島より、ハスエラタテジマウミウシ *Armina magna* Baba, 1955 が 1 個体確認されたため、ここに記録する。この個体は、2014 年 6 月 6 日の 13:20 に外離島の内湾的環境の水深 18m の砂泥底を匍匐していた (図 1a)。その周りには、ミナミウミサボテン *Cavernulina orientalis* (Thomson & Simpson, 1909) が複数確認された。このハスエラタテジマウミウシを海中でサンプル管に入れ、海水に入れたまま研究室に持ち帰り、水槽内で撮影及び計測を行ったところ、全長約 120 mm、体幅約 52mm であった (図 1b)。

ハスエラタテジマウミウシはダイオウタテジマウミウシ *Armina major* Baba, 1949 に酷似するが、前者は頭膜が無地であるのに対し、後者は頭膜に外套膜背面同様の縦縞を有す事から区別される。今回得られた個体は頭膜に縦縞を欠いており、ハスエラタテジマウミウシと同定される。また、ハスエラタテジマウミウシの外套膜背面の体色について、Baba (1955: 23, 48, pl. 11(29)) は黒色の地色に黄色の縦線を有すとし、また Gosliner & Fahey (2011: 253, fig. 1A) は白色から黄色の縦線を有すとしている。また外套膜の周縁は橙黄色 (Baba, 1955: 23, 49, pl. 11(29)) あるいは黄色からオレンジ色 (Gosliner & Fahey, 2011: 253, fig. 1A) の狭線に縁取られるとしており、今回外離島から得られた個体の色彩的な特徴に概ね一致していた。

本種は八重山諸島では稀であると考えられ、また、あまりダイバーが訪れない透明度の悪い砂泥底の内湾で調査を行ったことがこの発見に繋がったと考えられる。なお、採集標本は琉球大学資料館 (風樹館; RUMF) に RUMF-ZM-9223 として収蔵した。

謝辞

福田宏氏 (岡山大学) と久保弘文氏 (沖縄県水

産海洋技術センター) には本稿に対して有益な意見を、奥田和美・阿久津巖道両氏 (石垣潜水堂) にはウミウシ類に関する情報を、それぞれ頂いた。ここに感謝致します。

引用文献

- Baba, K. 1955. Classification. In Hattori, H. (ed). "Opisthobranchia of Sagami Bay collected by His Majesty the Emperor of Japan, supplement." Pp. 6–56. Iwanami Shoten, Tokyo.
- Gosliner, T. M. & S. J. Fahey, 2011. Previously undocumented diversity and abundance of cryptic species: a phylogenetic analysis of Indo-Pacific Arminidae Rafinesque, 1814 (Mollusca: Nudibranchia) with descriptions of 20 new species of *Dermatobranchus*. *Zoological Journal of the Linnean Society*, 161: 245–356.
- Tsujimura, H. & T. Ikebe, 1955. (Plates). In Hattori, H. (ed). "Opisthobranchia of Sagami Bay collected by His Majesty the Emperor of Japan, supplement." Plates 1–20. Iwanami Shoten, Tokyo.

A record of *Armina magna* Baba, 1955 (Arminidae) from Sotopanare Island, Yaeyama Islands, Japan**Tohru Naruse**Tropical Biosphere Research Center, Iriomote Station, University of the Ryukyus, 870 Uehara, Taketomi, Okinawa 907-1541, Japan
naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp

Abstract. *Armina magna* Baba, 1955 (Arminidae) is recorded from Sotopanare Island, Yaeyama Islands, Japan. This individual was observed crawling on the sandy-muddy bottom at a depth of 18 m at 13:20 on 6 June 2014.

投稿日: 2014 年 8 月 13 日

受理日: 2014 年 11 月 14 日

発行日: 2014 年 12 月 4 日



図 1. 外離島より採集されたハスエラタテジマウミウシ.

Fig. 1. *Armina magna* Baba, 1955 from Sotopanare Island, Ryukyu Archipelago, Japan.